

トレカ®クロス工法の 特長

樹脂含浸確認機能付き織物です。

- 樹脂を含浸させると白色から透明に変化するので、施工中に含浸状態が目視で確認できます。
- 未含浸などのヒューマンエラーを容易に防止できる織物です。

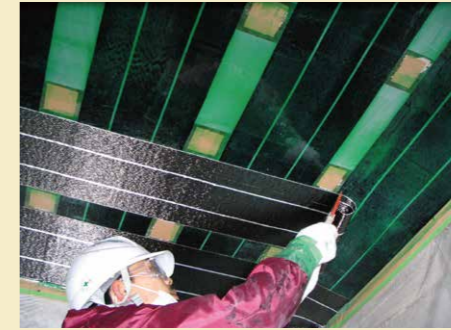


施工事例

現場名：城海津跨線橋梁補修工事
 施主：愛知県 東三河建設事務所殿



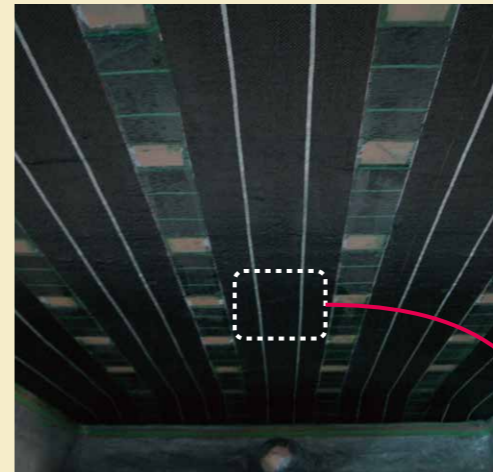
〈施工現場〉



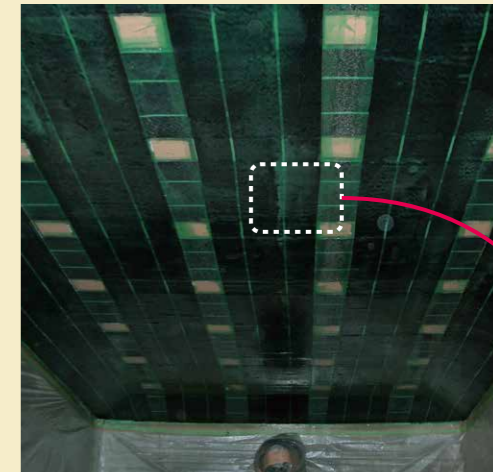
〈貼付状況①〉



〈貼付状況②〉

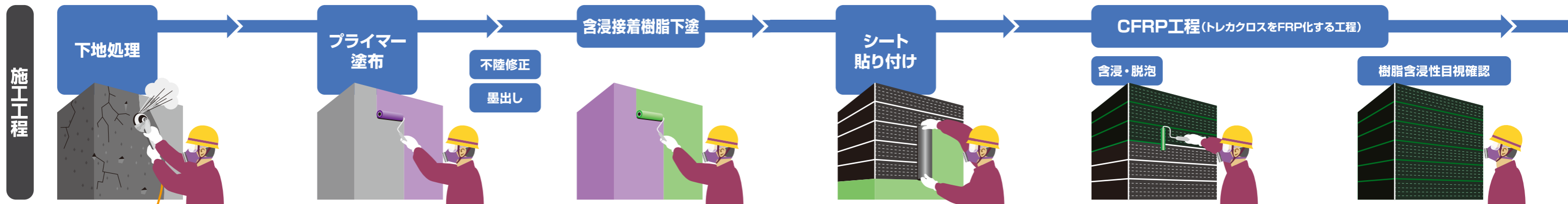
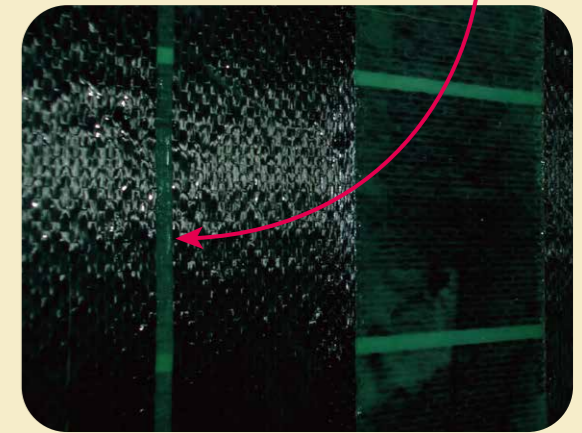
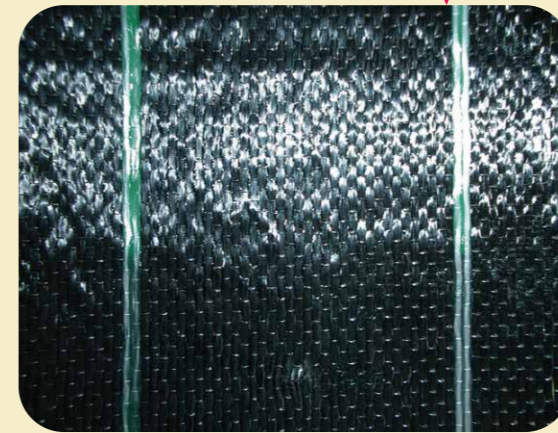


上塗り前



上塗り後

ガラス糸部分が透明になることで、樹脂含浸性を目視で確認できます。



用途

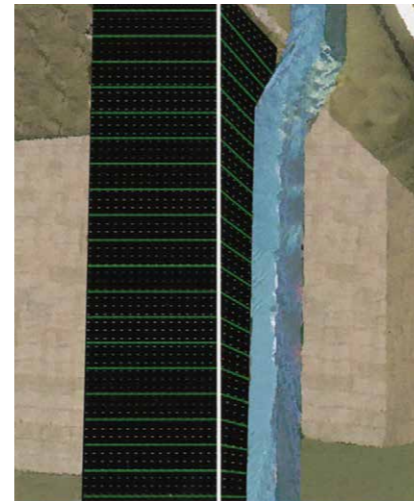
(下記イラストはイメージ図)



〈橋脚〉



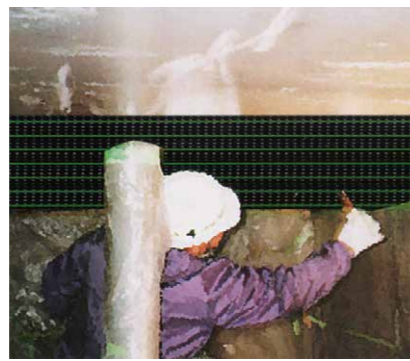
〈煙突〉



〈柱〉



〈梁〉



〈床板〉

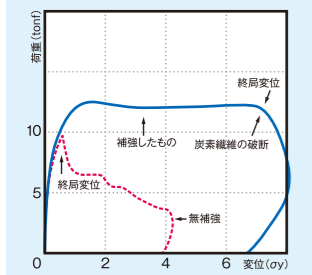


〈柱居〉(居ながら施工)

補強効果

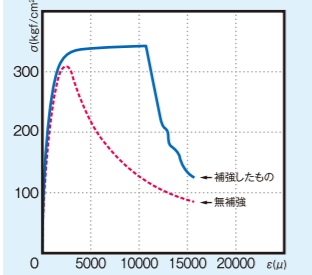
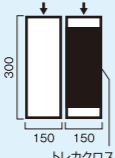
1. 橋脚、建物の耐震補強

トレカクロスを縦方向(曲げ補強)、横方向(せん断補強)に貼り付けることにより、コンクリートが拘束され、終局変位が大きくなり耐震性能が向上します。



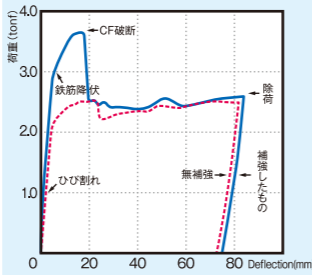
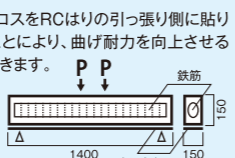
2. 圧縮靱性の向上

トレカクロスをコンクリート表面に巻き付けることによるコンクリートへの拘束効果により、コンクリートの終局ひずみが増大し靱性が向上します。



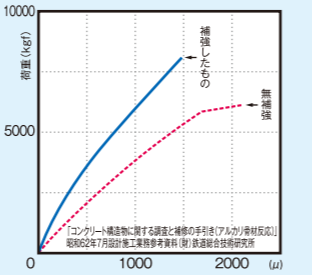
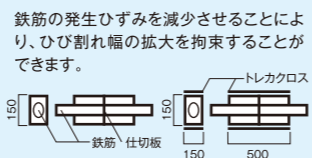
3. 曲げ耐力の向上

トレカクロスをRCはりの引張り側に貼り付けることにより、曲げ耐力を向上させることができます。



4. クラック部の補強

鉄筋の発生ひずみを減少させることにより、ひび割れ幅の拡大を拘束することができます。



含浸接着樹脂上塗

仕上げ
(必要に応じて塗装)

仕上り

